

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

日本保育サービスが運営する学童クラブで遊びながら SDG s を学ぶ 出張教室「トヨタ環境こどもプログラム」を開催

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスのグループ企業である日本保育サービスが運営する学童クラブ「二番町こどもクラブ」（東京都千代田区）で、8月5日、株式会社朝日新聞社が運営する「すき！がみつかる 放課後のしーと」とトヨタ自動車株式会社の共催による「トヨタ環境こどもプログラム トンボ篇」の出張教室が開催されました。

出張教室ではトヨタの社員が講師となり、こどもたちは、身近なトンボを題材に、「推理クイズ」や「3コママンガ」などを通じて遊びながら環境について学びました。



【出張教室を受ける二番町こどもクラブのこどもたち】

◆トンボが生きる環境の変化から 生態系の大切さを学ぶ◆

今回の出張教室に参加したのは、二番町こどもクラブに通う小学1年生から6年生のこどもたち40名です。まずは、「ハッチョウトンボを絶滅の危機に追い込んだ犯人は誰だ」という推理クイズにチャレンジ、こどもたちは探偵となり、なぜ、ハッチョウトンボの住む場所がなくなったのかを推理しました。次に、赤トンボの一種であるアキアカネの気持ちを表した3コママンガ「とんぼ兄さんのやってらんね〜!!劇場」を皆で読み、アキアカネの生態を学びました。

「トンボが元気に暮らせる環境を取り戻すためには『ゴミを捨てない』『水を汚さない』『自然を大切にすること』が大事」という講師の言葉に、こどもたちは静かに聞き入っていました。



【推理クイズで犯人さがし】



【とんぼ兄さん役に挑戦】

出張教室の最後には、当日学んだことを踏まえて、トンボが元気に暮らせる環境を守るために自分でできる「環境宣言」をこどもたち自身で考えてカードに書き込み、壁のポスター「みんなの環境宣言」に貼り付けました。ポスターには「川を汚さない」「プラスチックをリサイクルする」「自然を大切にする」「地球温暖化を防ぐ」など、こどもたちの宣言が並びました。



【「環境宣言」を書くこどもたち】



【「みんなの環境宣言」ポスター】

出張教室を受けて、こどもたちからは「今まで身近だった生き物がいなくなっていることを知って、おどろいた。」「あらためて、自然を大切にしなければと思った。」などの感想が寄せられ、環境問題に対して意識を向けるきっかけとなりました。

当社グループでは、今後も企業や地域と連携して、こどもたちがSDGsを身近な問題として楽しく学べる取り組みを進めてまいります。

■「すき！がみつかる 放課後のたのしーと」について■

学童保育など放課後の児童を預かる施設を支援するため、朝日新聞社が立ち上げた、社会課題解決型事業です。SDGsの3つのゴール「8：働きがいも経済成長も」「4：質の高い教育をみんなに」「17：パートナーシップで目標を達成しよう」に根差した取り組みです。現在の利用児童数は50万人以上で、全国の学童に通う約131万人の児童（※）のうち、2～3人に1人が、「たのしーと」を使っていることとなります。

（※2020年12月厚生労働省発表 放課後児童クラブの登録児童数から）

【公式ホームページ】 <https://houkago.asahi.com/>

■株式会社JPホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証1部上場・証券コード2749）です。運営施設数はグループ全体で303施設となります（2021年4月1日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究などを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部
広報IR部 都志・牛田・筒場

TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032

MAIL：jpohd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>